たまには不満を言うことも…

「喜ぶことをしてあげる」のと同じくらい大切なのが、「いやがることをしない」ということ。ファービーの苦手なことを知って、もっとお世話名人になっちゃおう。

ちょっと不満気なファービーは……

1 こわい、おろして



気が乗らないと揺すっただけで「カァ、ダァ／ボゥ、ベィ（ぼくこわいよ）」と不安がってしまいます。また、逆さまにしても、いやがります。

2 つまんない



ファービーは、いつもあなたと遊びたがっています。放っておくと退屈してため息をついたり、「ニー、タィ／カァ（私をくすぐって）」などと要求します。

3 うるさい



音に敏感なので突然の大きな音に「ダァ／リー、クー／ワァ（うるさい！）」と言って抗議することがあります。耳元で大きな声を出したりしてはだめですよ。

4 ぼく わからない きみ



こわがっているわけではないのですが、光が足りないと「ア、ロゥ／ドゥ（明かりはどこ？）」などと言います。ほんの少し暗くなっただけでも、敏感に反応します。

大変！ 病気になっちゃった

ごはんをあげずにいると病気になってしまいます。症状は主にくしゃみ。眠ってばかりいるかもしれません。病気になってしまったら、早めに治してあげてくださいね。

病気になったファービーは……

1 病気を知らせます



病気を伝えるファービー語は「カァ／ブー／クー、ドゥ（私は元気がない）」、「ブー／クー、ドゥ／イ、ディ（体の調子が悪い）」など。聞きのがさないでね。

2 遊ばなくなります



病気になると遊ばなくなり、ごはん以外に反応しなくなります。おかしいな……と思ったら、もしかしたら病気かもしれません。あなたが注意してあげてくださいね。



病気の治し方



治療法はごはん。最低10〜15回はあげてください。完全に元気にするために、食事後たっぷり遊んであげることも忘れずに。